



# 5人はだれを守るの、何を隠したいのか

目玉は、民間施設の弥彦競輪場と新潟市にある村有の場外売場の土地と建物「サテライト新潟」(六億八千万で新築を、十七年十二月に弥彦競輪場(土地は神社と個人の所有)を村有に、サテライト新潟を民間に無償譲渡(交換)したことで大幅に収益が改善されるという内容だった(机上評価は年最大四億円の収益増)。

平成二十年度開催のふさぎとタービーの収支について「六億円前後の赤字」と議会で答弁し、その後の議会で、「収支改善計画の効果」を問われた村長は、「平成十九年度から、三年連続の赤字を続けることができ、まさに『救世主』だった」と議会で答えている。さらに、収益率が最も高い「寛仁親王杯(G-1)」を開催し、初回の親王杯の収

益を問われて「四億円前後の増収」と、これも議会で答弁している。

「救世主」となった構造改革と寛仁親王杯開催で大幅に増えた金はどこに消えたのか。公表された資料では多くて二千万弱しかない。構造改革は大谷氏の功績だが、その後の議会などでも問題となっていない。

怒髪天さんの言葉を借りれば、全国競輪場の「四〇〇の目減り」異常「業務委託費」臨時場外関連の支出「弥彦村の実態はどうであつたか。競輪事業の会計処理をザックリ調べた「弥彦村行政事務調査報告書」が回覧されたので読んだ。

報告書は「〇〇の目減り」異常「業務委託費」臨時場外関連の支出「弥彦村の実態はどうであつたか。競輪事業の会計処理をザックリ調べた「弥彦村行政事務調査報告書」が回覧されたので読んだ。

これら不透明さ。不可思議な「交際費・旅費」などを指摘する内容だ。

村は昨年六月以来、競輪事業の外部監査に必要な調査費を計上し、議会に承認を求めたが、その都度五人の議員の反対で否決されてきた。六月議会で、従来と変わらぬ理由に、「調査内容を事前に説明し、必要性が理解できる資料を出せ」として五回目の否決となつた。

これら不透明さ。不可思議な「交際費・旅費」などを指摘する内容だ。

村は昨年六月以来、競輪事業の外部監査に必要な調査費を計上し、議会に承認を求めたが、その都度五人の議員の反対で否決されてきた。六月議会で、従来と変わらぬ理由に、「調査内容を事前に説明し、必要性が理解できる資料を出せ」として五回目の否決となつた。

報告書の中身は「疑義」の多い「疑義」に相当する内容だ。敬三氏の言う「指摘された」に十分該当するのでないのか。

現状の財政状況や老朽化した小中学校など公共施設を更新するため十五億円以上という多額の経費を必要とする現状を、全く考慮せずに反対のため反対が議会の意思と言えるか。まともな村民を馬鹿にするな。

財政の立て直しが差し迫った喫緊の課題なのに、否決を続ける議員は何を求めているのか。村民の「見て見ぬ振り体質」も指摘している。さらに加えれば、大谷氏三期目から議論を避ける議会に変質したのにはせせか。不思議でならない。

## 『一浴百寿Tシャツ』と

### あじさいまつりに合わせて湯乃橋タオル

田上町観光協会(野澤幸司会長)は二十日から事務局を置く役場産業振興課で、「あじさいまつり」に合わせて作った「一浴百寿Tシャツ」と「湯乃橋タオル」を販売している。

同観光協会は、十七日(堂山(二七四号)などで七月二十日まで護摩「あじさいまつり」を開

いており、盛り上げに役を買おうと、田上づくりのTシャツとタオルを制作。



あじさいまつりに合わせて作ったタオル

Ichiyokuhyakujū  
いちよくひやくじゅう  
一は百寿  
湯乃橋  
Yutagami Onsen since 1738

泉街で行う「湯乃橋」の親柱に刻まれた「一浴百寿」の文言をTシャツにプリント

配置。そのまわりにアジサイのイラストをちりばめた。タオルは白で縦三十四、横八十三。紺のイラストを配置し、橋の

泉街で行う「湯乃橋」の親柱に刻まれた「一浴百寿」の文言をTシャツにプリント

配置。そのまわりにアジサイのイラストをちりばめた。タオルは白で縦三十四、横八十三。紺のイラストを配置し、橋の

すつセットで購入すると二千五百円になり三百円「トク」。ともに二百枚限定。詳細は田上町観光協会(五七七一六二五)に問い合わせる。

外部監査を否決し続ける五人各位(本多隆峰、小本多隆峰、田中満男、小熊正、赤川幸子)はだれを守るの? 何を隠したいのか?

報告書は不正を疑わせる内容だ。ならば徹底した調査を要求するのが議員の使命であり責務でないのか。怒髪天さんの言う通りだ。

隠蔽の先陣を切つて反対する五人の議員は村民の付託に逆行する行為であることは明確である。まさに村民に対する「重大なる背信」だ。

(弥彦村民)

## ギンは男性職員 えば300円トク